

～ 魚の道をつなげよう ～



↑ 朝倉堰（改修前）

朝倉堰には元々魚道がありましたが、降雨量が多い時など、河川状態により魚たちの移動が難しい状況でした。



↓ 朝倉堰（改修中）

2013年の河川の護岸工事の際に、魚道も一緒に改修されました。その時、魚道の石を専門家に配置してもらいました。魚たちにとって、石の大きさや配置の調整がとても大事なのです。



↑ 朝倉堰（改修後）

魚たちは一気に魚道を上るのは難しいので、石の影で一休みをします。石の配置によりその休憩スポットが上手く組み合わせられ、魚たちにとって移動がしやすい魚道が完成しました。

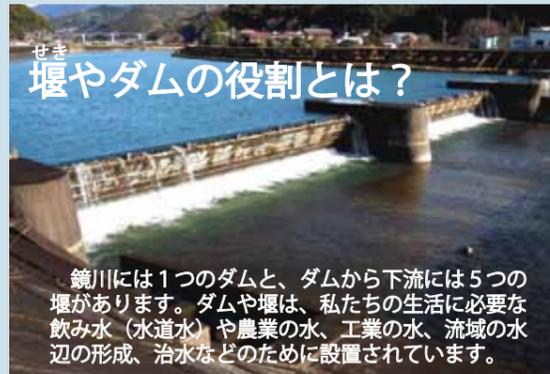


一緒に活動
してみませんか！

朝倉堰は市民の方の気付きにより、生き物たちに優しい形への改修へとつながりました（上の改修写真を参照）。

普段の生活で少し意識を変え、生き物に配慮するだけで、分断された川と海のつながりを取り戻し、生物多様性豊かな自然環境を守ることができます。

私たちにもできることから始めてみませんか。



堰やダム役割とは？

鏡川には1つのダムと、ダムから下流には5つの堰があります。ダムや堰は、私たちの生活に必要な飲み水（水道水）や農業の水、工業の水、流域の水辺の形成、治水などのために設置されています。



ぎょどう
魚道とは？

鏡川には、アユやウナギ、ヨシノボリ、テナガエビ、ツガニなど川と海を行き来して生活する生き物がたくさんいます。しかし、堰やダムがあると生き物の自由な移動が難しいため、堰の横に生き物を通るための道が設置されています。これを「魚道」といいます。魚道を上手に見つけられた生き物は、堰を上ったり、下ったりできますが、魚道を見つけれない生き物は、限られた範囲で生活することになってしまいます。少しでも多くの生き物が鏡川にすむことができるよう、自由に移動できる魚道であることが、とても大切なのです。

— 鏡川 5つの堰とダム 主な役割 —



① トリム堰

● 潮止機能（ここから上流に海水が上らないようにするための堰）



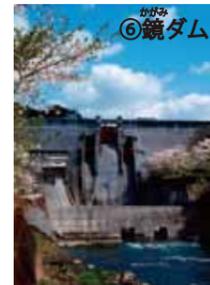
③ 鏡川堰

● 地下水の確保（可動堰）



⑤ 朝倉堰

● 水道用水、農業用水の確保



⑥ 鏡ダム

● 高知市を守るための治水機能
● 工業用水、水道用水などの確保
● ダムからの放流を利用した発電



② 廊中堰

● 水道用水、工業用水確保（可動堰）



④ 江ノ口鴨田堰

● 農業用水の確保（可動堰）

へえ～
堰やダムには
色々な役割があるんだね。
ぼくたちも生活しやすいように
工夫してくれたら嬉しいな。



やってみよう！

鏡川のために
できること

- ゴミをすてない
- よごれた水を流さない
- 大人と一緒に川であそぼう！

↓

生き物や自然に
関心をもつ

↓

自然を大切に
する心